

「恋愛関係と親友関係についての調査」のお礼と結果報告

この度は、私の調査にご協力いただき、大変ありがとうございました。

本調査の目的は以下の2つです。今回は、以下2点について、簡単にご報告させていただきます。

- ① 恋人のいる人と親友のいる人との間に、幸福感の高さに違いがあるのか？
- ② 恋人と親友から得られる安心感は、幸福感に及ぼす影響力が違うのか？

I. 回答者の基礎データ

恋愛関係 81組 (交際期間 1~71ヶ月)

男性 (平均 22.26歳 ± 3.97)、女性 (平均 20.16歳 ± 1.50)

親友関係 112組 (関係継続期間 3~240ヶ月)

男性ペア 14組 (平均 20.32歳 ± 1.22)、女性ペア 97組 (平均 19.75歳 ± 1.00)

お互いのことを「親友」と分類していないペアは除外

II. 恋人のいる人と親友のいる人の幸福感の違い (Figure 1) : 目的①

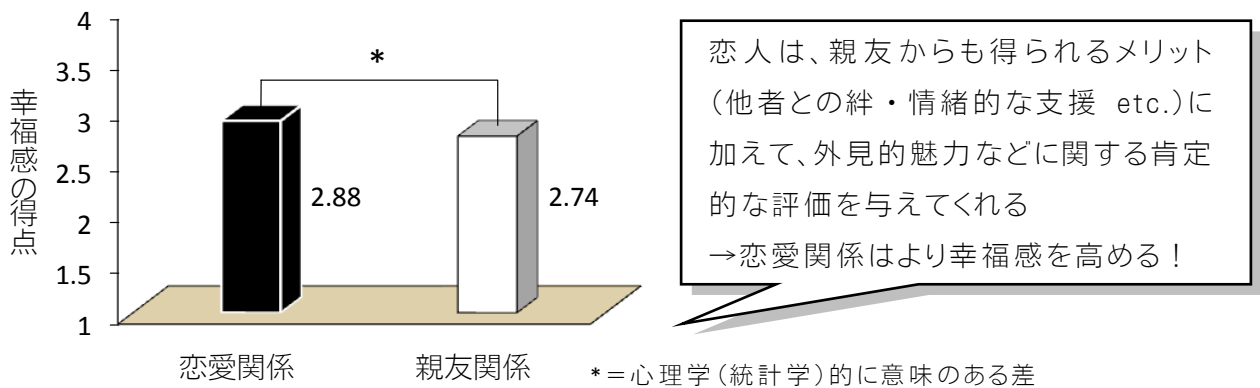


Figure 1 恋人のいる人と親友のいる人の幸福感の平均得点 (4点満点)

III. 恋人と親友の安心基地としての機能が幸福感に及ぼす影響力の違い (Figure 2) : 目的②

・ 安全基地 = 自分が苦しいとき、相手 (恋人 or 親友) が助けてくれるだろうという確信

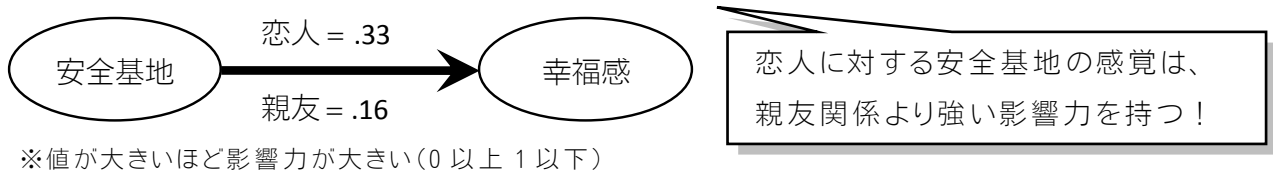


Figure 2 恋人と親友の安全基地が幸福感に及ぼす影響力

今後の課題：どうしたら「安全基地」は高まるのか？

IV. 最後に...

今後、さらに詳細な分析を行い、学会発表や論文執筆を行う予定です。その際には、皆さまのプライバシーを保護することを、改めてお約束いたします。重ね重ね、ご協力ありがとうございました。